

# 再評価No.26 廃棄物処理施設等整備事業（清水港）

## ○資料2 個別調書

### 費用対効果の算出説明書

清水港 廃棄物処理施設等整備事業（三保地区）  
「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル 平成29年3月」

#### 【総便益】

総便益 B	655.8億円	浚渫土砂処分コスト低減便益、残存価値を計上
総費用 C	643.8億円	建設投資額を計上
費用便益比 B/C	1.0	

※検討期間は、施設の建設期間+浚渫土の受入完了迄の期間

## ○資料1 一覧表

### 前回委員会時

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業概要		再評価理由	前回評価時点からの事業進捗			
					評価時期	計画期間		全体事業費	事業費	進捗率	事業の投資効果
						上段：前回又は着手時 下段：今回		上段：前回又は着手時 下段：今回			
26	静岡県	廃棄物処理施設等整備事業	しみずこう清水港	静岡市	H28 (前回)	S50~R4	10,105	再評価実施(H28)後5年が経過	9,905	98.0%	B/C: 1.1
					R3 (今回)	S50~R13 (+19%、9年延伸)	10,105 (変更なし)		9,905	98.0%	B/C: 1.1 EIRR: 4.1%



### 訂正後

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業概要		再評価理由	前回評価時点からの事業進捗			
					評価時期	計画期間		全体事業費	事業費	進捗率	事業の投資効果
						上段：前回又は着手時 下段：今回		上段：前回又は着手時 下段：今回			
26	静岡県	廃棄物処理施設等整備事業	しみずこう清水港	静岡市	H28 (前回)	S50~R4	10,105	再評価実施(H28)後5年が経過	9,905	98.0%	B/C: 1.1
					R3 (今回)	S50~R13 (+19%、9年延伸)	10,105 (変更なし)		9,905	98.0%	B/C: 1.0 EIRR: 4.1%

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所を選定					特記事項	担当課					
					評価時期	計画期間			全体事業費	事業費	進捗率		事業の投資効果	事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)	理由	選定の視点										
						上段: 前回又は着手時	下段: 今回											上段: 当初または前回	上段: 当初または今回	上段: 当初または前回	①事業のみ			①社会的注目度等	②計画変更等	③事業規模	④事業費変更等	選定結果
						下段: 今回	下段: 今回																					
23	静岡県	高潮事業	静岡県牧之原市 御前崎港海岸	御前崎市 牧之原市	H28 (前回)	H19~R4	2,681	再評価実施 (H28) 後 5年が経過	1,293	48.2%	B/C: 4.7	◎	◎	継続	・近年、切迫する南海トラフ巨大地震や東海地震等の発生が危惧され、早急な対策が求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、令和3年度より新規補助事業として採択されるなど、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	—	—	○	○	◎	国 50%	港湾整備課						
					R3 (今回)	H19~R12 (+50%、8年延伸)	7,784 (+190%、5,103増)		2,014	25.9%	B/C: 1.7 EIRR: 6.4%																	
24	静岡県	高潮事業	静岡県伊豆市 土肥港海岸	伊豆市	H28 (前回)	H15~R4	2,068	再評価実施 (H28) 後 5年が経過	814	39.4%	B/C: 5.6	—	◎	◎	継続	・近年、推進計画の策定や警戒区域の指定により、地元の期待も大きい。さらに、事業の投資効果も見込まれ、観光、理髪、防災のバランスがとれたまちづくりの実現に向けた地域性資との合意形成を図っているなど、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	—	—	—	—	—	国 50%	港湾整備課					
					R3 (今回)	H15~R11 (+35%、7年延伸)	2,068 (変更なし)		814	39.4%	B/C: 7.8 EIRR: 11.2%																	
25	静岡県	高潮事業	静岡県藤原市 藤原港海岸	牧之原市	H29 (当初)	H29~R7	987	事業採択 (H29) 後 5年が経過	-	-	B/C: 6.2	—	◎	◎	継続	・近年、切迫する南海トラフ巨大地震や東海地震等の発生が危惧され、早急な対策が求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、関係機関との調整も進捗しているなど、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	—	—	—	—	—	国 50%	港湾整備課					
					R3 (今回)	H29~R7 (変更なし)	987 (変更なし)		450	45.6%	B/C: 5.5 EIRR: 17.4%																	
26	静岡県	商業物産施設等整備事業	静岡県清水市 清水港	静岡市	H28 (前回)	S50~R4	10,105	再評価実施 (H28) 後 5年が経過	9,905	98.0%	B/C: 1.1	—	◎	◎	継続	・近年、港内の水深確保の必要性が一層高まっており、さらに、事業の投資効果も見込まれ、関係機関との調整が進展しているなど、今後の進捗が見込まれることから事業を継続する。	—	—	—	○	—	国 33%	港湾整備課					
					R3 (今回)	S50~R13 (+19%、9年延伸)	10,105 (変更なし)		9,905	98.0%	B/C: 1.0 EIRR: 4.1%																	
27	静岡県	街路整備事業	静岡県沼津市 JR東海道本線・JR東海静岡線 (沼津駅付近連続立体交差事業)	沼津市	H28 (前回)	H15~R12	78,700	再評価実施 (H28) 後 5年が経過	2,887	3.7%	B/C: 1.2	—	◎	◎	継続	・近年、駅周辺では土地地区画整理事業や市街地整備事業などにより新しいまちが形成されつつあるものの、交通渋滞や南北市街地の分断等の課題の解決には至っておらず、事業の早期完成が期待されている。貨物駅移転先用地取得が完了し、高専本線用地の取得、工事着手に向けた最速事業者との協議も進んでおり、事業の投資効果も見込まれることから、事業を継続する。	—	○	—	○	◎	国 55%	街路整備課					
					R3 (今回)	H15~R16 (+14%、4年延伸)	78,700 (変更なし)		5,210	6.6%	B/C: 1.1 EIRR: 4.6%																	
28	静岡県	街路整備事業	静岡県藤枝市 志太中央幹線	藤枝市	H28 (前回)	H24~R4	2,392	再評価実施 (H28) 後 5年が経過	958	40.0%	B/C: 2.2	—	◎	◎	継続	・地元の期待も大きく、用地買収や工事も順調に進捗しており、費用対効果も見込まれることから、事業を継続する。	—	—	—	—	—	国 50.0%	街路整備課					
					R3 (今回)	H24~R5 (+10%、1年延伸)	2,329 (-3%、63減)		1,870	80.3%	B/C: 2.7 EIRR: 9.6%																	
29	静岡県	街路整備事業	静岡県御前崎市 都市計画道路池新田中央交差点(中町工区)	御前崎市	H29 (当初)	H29~R5	1,360	事業採択 (H29) 後 5年が経過	0.00	0.00	B/C: 1.3	—	◎	◎	継続	・用地買収や工事も順調に進捗しており、費用対効果も見込まれることから、事業を継続する。	—	—	—	—	—	国 55.0%	街路整備課					
					R3 (今回)	H29~R5 (変更なし)	1,586 (+17%、226増)		1,324	83.4%	B/C: 1.1 EIRR: 4.7%																	

※1 「変更理由等」欄は、全体事業費の変動が3割を超える場合、計画期間の変動が5割を超える場合に記入する

※2 「評価の視点」欄は、「継続が妥当」→◎、「見直しにより継続が妥当」→○、「継続は妥当ではない」→×

○代表説明事業選定の視点

・以下の点に基づき代表箇所を選定する。

・なお、①、②に該当する場合には、複数となっても必ず選定する。

- ① 社会的に注目されている、課題が大きいなどの箇所(B/C<1など)
- ② 事業計画を変更または中止する箇所
- ③ 事業規模が大、事業期間が長い箇所
- ④ 計画時又は前回再評価時と著しく事業費・計画期間、効果が異なった箇所  
(事業費は3割を超えて増加している場合、計画期間は5割を超えて延長している場合など)